国際ロータリー第2840地区<群馬>2013-2014年度

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER to Rotary club presidents and secretaries



2014



本田ガバナー事務所

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F TEL:027-212-2840 FAX:027-212-2841 E-mail:honda@rid2840.jp

1月号

第5分区の ホーフ **Our Hope**

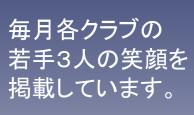






「ぬまたんち」







渋川 RC 塩川 香峰子



渋川 RC 宮川 康政



渋川RC 横手 誠二



沼田 RC 赤間





雄一郎 沼田 RC 南雲 達也



草津 RC 佐藤





中之条 RC 長田 明



中之条 RC 本嶋 茂雄







渋川みどり RC 大河原 秀之 渋川みどり RC 金井

「ガバナー月信」1月号目次

表紙	01	ロータリー財団地域セミナー報告 12
目次、笑顔の会員紹介	02	第 42 回ロータリー研究会報告 14
ガバナーメッセージ	03	前橋中央ロータリークラブ20周年記念事業の紹介 16
ガバナーエレクトメッセージ 竹内ガバナーエレクト	04	本田ガバナー・コラム「ロータリーの誤解・正解」… 17
パストガバナーエッセイ 重田 RI 元理事	05	地区主要行事一覧および周年行事予定クラブ…20
ロータリー財団補助金管理セミナー	07	新会員紹介 21
米山記念奨学委員会活動報告	08	フィリピン支援金報告
RLIセミナー Part Ⅲ 報告	09	本田ガバナー事務所新スタッフ紹介 22
第 26 回茶の湯研修会 参加の記	10	文庫通信23
竹内年度第1回ガバナー補佐・		出席報告 24
委員長予定者合同会議報告	11	ガバナー月信についてのお願い/編集後記 … 25

笑顔の会員紹介

氏 名	塩川 香峰子	宮川 康政	横手 誠二	赤間 昌彦	石澤 雄一郎	南雲 達也	
クラブ名	渋川	渋川	渋川	沼田 沼田		沼田	
会社名	竹久夢二 伊香保記念館	SMBC フレンド 証券	㈱横手館	㈱北群馬旅行社	㈱マルキホームズ	㈱ナグモ	
職業分類	公益財団法人	証券業	旅館	旅行業	日用品雑貨卸業	土産品卸業	
氏 名	井出 光治	佐藤 勇人	関 康寛	長田明	本嶋 茂雄	柳澤 康雄	
クラブ名	草津	草津	草津	中之条	中之条	中之条	
会社名	(有)井出生花店	近代管理㈱	(有)樫山	東和銀行 中之条支店	㈱吾妻水質管理 センター	群馬銀行 中之条支店	
職業分類	生花販売	ビル不動産管理業	文具店	地方銀行	水質管理	商業銀行	
氏 名	小澤 博之	高橋 昭紀	茂木 清七	大河原 秀之	金井 雄吾	茂木 悟	
クラブ名	沼田中央	沼田中央	沼田中央	渋川みどり 渋川みどり		渋川みどり	
会社名	㈱河内屋菓子店	侑町田オート	㈱奥利根自然菜園	ガランケット社会保険 (㈱大澤屋 労務士・行政書士 事務所		㈱ KOUJIN	
職業分類	和菓子製造販売業	自動車修理業	農業	食品販売	社会保険労務士	損害保険代理店	



ガバナーメッセージ

いよいよ私たちの年度も後半に入ります。 そして、1月は「ロータリー理解推進月間」です。

2013-14 年度 ガバナー 本田 博己

会長・幹事の皆さんこんにちは!! 今年もよろしくお願いします。

私たちの年度もちょうど半年が経過し、いよいよ後半戦となります。年度当初に掲げたクラブ目標や実行項目の進捗状況はいかがでしょうか。これまで半年の活動を振り返り、残された課題をメンバーと共有し、私たちの年度の有終の美を飾ることができるよう、気を緩めず「元気なクラブづくり」に果敢に取り組んでいただきたいと存じます。

特に、多くのクラブが抱える最大の課題、「仲間を増やすこと」すなわち会員増強については、新会員勧誘の活動を促進するだけでなく、年度末に近づくほど、会員維持(退会防止)にも注意深く意識を傾ける必要があります。各分区・グループのガバナー補佐の皆様が、地区の「会員組織強化委員会」委員を務めていますので、彼らと連携し目標達成に注力お願いします。

また、今後は、2014 - 2015 年竹内ガバナー年度の年度前研修会合やセミナーの日程も重なってきます。 クラブにおいても、会長エレクトの皆様の年度前の準備を支援し、スムーズにクラブ運営をバトンタッチしてゆけるよう特段のご配慮とご協力をお願いします。

さて、1月は「ロータリー理解推進月間」(Rotary Awareness Month)です。「会員にロータリーについて知識と理解を一層深めてもらい、同時にロータリアン以外の、一般市民にもロータリーのことをよく知ってもらうためのプログラムを実施する月間」とされています。本年度の地区目標に掲げたように「クラブのロータリー研修の充実」(地区目標2)と「広報だけでなく、会員とクラブの活動全体で、地域社会に対する発信力を高め、ロータリーの公共イメージを高める」(地区目標3)ことを、クラブの現状を確認しながら、具体的に促進していただきたいと存じます。

さらに1月の27日を含む1週間は「追悼記念週間」(Remembrance Week)です。1月27日は、ロータリーの創始者ポール・ハリスの命日(1947年没)であり、「毎年この1月27日を含む1週間を、物故ロータリアンの冥福を祈り、生前の貢献を記念する週間」としているのです。皆様のクラブの歴史を築いてこられた物故会員の遺徳を偲んだり顕彰したりするよい機会だと考えます。



ガバナーエレクトメッセージ クラブ会長エレクトの皆様へ

ガバナーエレクト 竹内 正幸 (2014-2015 年度ガバナー)

新年明けましておめでとうございます。

私は2014-2015年度国際ロータリー第2840地区ガバナーを拝命致しました太田ロータリークラブの竹内正幸と申します。浅学非才の私でありますが、この職責を汚すことなく地区のリーダーとして1年間を全うしてまいりたいと思います。

7月1日のクラブ会長就任に向けて準備も着々と進んでいる事と思います。この半年間がまさに勝負の時であります。段取り8分全てがこの言葉に集約されております。2015年度はロータリー創立以来110年になりますが、その間ロータリーは世界の目まぐるしい変化に伴い、ロータリーの多様性を持って進化し、今では世界で随一の奉仕団体となっております。

その主役は各クラブであり、奉仕に友情の心を持った会員の皆様である事は間違えのない事 実であります。

そのクラブ、会員の道案内役がまさに会長エレクトの方々であり、責任と責務です。

もう一度創立時のロータリー精神を振り返り、この110年間のロータリーを学び、更なるロータリーの発展に邁進して頂く事を心よりご祈念申し上げます。

2014-2015年度の地区活動方針、ガバナースローガンは

「異体同心」友情と奉仕の心 築き上げよう「46のロータリー物語」

とさせて頂きました。

全ての会員皆様の姿・形は違っていてもその心はロータリー創立時の精神「友情と奉仕の心」を持ち併せていかなければならないと思います。心が一つになって職業奉仕をはじめ5大奉仕事業が成り立つものであり、その先にクラブの活性化が生まれクラブ独自の事業が展開され、魅力あるクラブ創りとなることであると思います。クラブの成り立ち、会員数、資金は46クラブ様々であり、クラブに合った事業を行う事が、「46のロータリー物語」創りとなる訳であります。

併せて2015年は第2560地区より分割し、日本で一番若い地区となって誕生し15年が経過しました。

以来シニアリーダーの皆様方のご努力により様々な場面に於いて34地区の内でも元気と活力のある地区となってまいりました。

どうぞ皆様方には明るく元気、そして楽しい地区創りに共に努力して頂く事を心よりお願い申し上げます。



パストガバナーエッセイ 私が仕えた二人のRI会長

国際ロータリー・元理事 重田 政信 (1995-1996 年度ガバナー)

カール・ステンハンマー会長

私は2005~2007年度RI理事として、二人のRI会長に仕えました。ご存じの通り、2004年5月に日本では3回目の国際大会が大阪で開催されましたが、この大阪大会で、スウェーデン・ゴーテボルグRCのカール・ウイルヘルム・ステンハンマー氏が次年度RI会長に選出され、同時に私もRI理事候補として指名されました。

2006年の国際大会は、開催地がマルメ(スウェーデン)とコペンハーゲン(デンマーク)という、2ヶ国に亘る変則的な大会でしたが、偶々ステンハンマー会長のホームタウンのゴーテボルグがマルメに近かった関係で、RI理事会をゴーテボルグ(Goeteborg)で開催し、約1週間そこに滞在することになりました。

ステンハンマー会長の祖父は、日本の音楽関係者にもヴイルヘルム・ステーンハンマルというスウェーデン語の呼び名で知られている作曲家であり、19世紀から20世紀にかけて指揮者兼ピアニストとしても活躍した著名な音楽家ということでした。彼のホームタウンであるゴーテボルグにも案内されましたが、そこには彼の祖父の名を冠した立派な記念コンサートホールがありました。

東京での歓迎会の演奏会で、当地区からのR財団奨学生だった演奏家夫妻に、彼の祖父の曲を演奏するよう依頼しておきましたが、その演奏後に彼はステージへ飛び上がり、演奏家夫妻と握手して感謝の意を表しました。この時ステンハンマー会長は南アフリカのヨハネスブルグから地球を1/3 周して駆け付け、流石に疲労の色は隠せませんでしたが、ステージに上がる時は必ず小走りに出てきて、丁寧な日本式のお辞儀をされ、聴衆の心を和ませてから、自分の世界に引き込むのでした。

私はRI理事として、RI会長が地元群馬を訪れる機会を望んでいましたので、彼が東京のロータリー研究会に出席した折に、前橋まで足を延ばして、当時の曽我隆一ガバナーが主催した合同IMに出てもらいました。彼の年度のRIテーマは「超我の奉仕」でしたが、彼は世界の至る所で身を以て常にそれを実践していたと思います。

また、私が彼と同行した世界のロータリーの会合では、彼の講演の後で必ず会場の全員が立ち上がって拍手をしていましたが、前橋では日本式に全員が座ったままで拍手を送りました。私がこのことを気にしていると思った彼は、「スタンディング・オベーションはアメリカのしきたりだ。」と言ってくれたことを覚えています。

彼の人間的な魅力は、前例に囚われない実行力にも現れました。一例を挙げれば、それまで

男性だけが占めていた財団管理委員に、キャロラインというアンカレッジ出身の女性会員を初めて 指名したことにも示されています。今ではロータリー世界でも女性の活躍が当たり前のようになって いますが、当時の彼の英断が、今の女性RI副会長を誕生させる糸口になったと思われます。

ウイリアム(ビル)・ボイド会長

ビル・ボイド会長はニュージーランドから選出された二人目のRI会長です。ビル・ボイド会長のテーマタイの色はライト・ブルーでしたが、これはニュージーランド特産の巻き貝の殻の色と、海の色を象徴したもので、ローナ夫人の発案といわれます。

また、ニュージーランド出身の最初のRI会長は、「ロータリーモザイク」の著者として有名なハロルド・トーマス氏であり、ボイド会長は常に彼を意識して、尊敬しているように思われました。

彼の年度の国際大会はソルトレイクシティで開催されましたが、その開会式で披露されたニュージーランド・アボリジニーの民族ダンスは、まことに印象的でした。

彼のRIテーマは「率先しよう」でしたが、これは一人一人のロータリアンに呼び掛けたテーマであり、 また彼自身も優れたリーダーシップの持ち主でした。

彼はロータリアンがロータリーの原点に立ち返ることを重視していました。私は理事会において 2007 年規定審議会では、理事会提案として「標準ロータリークラブ定款上に"四大奉仕"を定義すること」を上程するよう提案しましたが、彼は日本のロータリアンが「四大奉仕」を重視していることを理解していてこの提案に同意し、幸い審議会では反対もなく採択されました。この 2007 規定審議会が、私のビル・ボイド年度における最大の想い出です。

彼が 2007 年4月3日に来日した折には、RI会長を再び群馬に招くわけにも行かず、来日翌日に東京荏原RC、翌々日の4月5日には東京神田RCとお茶の水RCの合同例会、更に4月6日には東京西RCと広尾RCの合同例会に出席され、その足で藤沢に向かい、かながわ湘南RCの夜間例会に出席するという強行軍の中で、自らの経験から職業奉仕の重要性や会員増強の必要性を説かれ、また会員の質問にもいちいち丁寧に答えられて、彼の誠実な人柄が多くの日本ロータリアンに深い感銘を与えました。

かながわ湘南RCでは、新会員の入会式も行われましたが、彼は自分の襟に付いているバッジを取り外し、それを新会員の胸に付けて激励したことも感動的な場面でした。

またこの例会の後で、当日フランスに在住していたかながわ湘南 RC の会員とビル・ボイド・会長がインターネットを通じて交信される機会があり、このようにクラブ例会にも IT が導入されている先進性にボイド・会長も関心を深められたご様子でした。

図らずも、こうした立派な二人のR I会長に仕えたことは、私のロータリー人生における忘れ難い経験となり、その後の心の糧として永く記憶に止まっています。

ロータリー財団補助金管理セミナー開催される!

地区副幹事 長谷浩克





2013年(平成25年) 11月16日(土)10時~16時 30分まで、前橋商工会議所会館においてロータリー 財団補助金管理セミナーが開催されました。

このセミナーは、2012-2013年度からスタートした『未来の夢計画』による地区補助金・グローバル補

助金を申請するために、出席することが義務となっているものです。

伊能R財団副委員長の開会挨拶に続き、本田ガバナー、牛久保R財団委員長、横山及び曽我パストガバナーによる挨拶からセミナーはスタートし、その後は以下のスケジュールに沿って進行となりました。

- ・主旨及び資料説明等
- ・未来の夢計画に基づくR財団と地区組織
- ・資金推進についての実績報告
- ・補助金の現況
- ・地区補助金について
- グローバル補助金について
- ・資金管理・報告書について
- クラブからの質疑・応答



地区補助金については、公金を支出するものであるため、その要件や手続が厳格に定められ、加えて、 申請年度の翌年度が実施年度となる複数年度に跨る事業で、場合によってはクラブ内でのより密な連携が必要となるなど、注意を要する点が多々あります。そのような状況でも多くのクラブが前年度に申請し、 今年度実施している状況等が紹介されました。

また、グローバル補助金については、地区の承認を受けたあとは、申請クラブが財団本部よりメール等で直接質問や指導を受けるため、厳格な手続に加え英語での対応が必要となり、時間と労力が必要となるものですが、3クラブの申請実績があり、その内容等が紹介されました。

セミナー終盤のクラブからの質疑・応答では、既に多くのクラブが未来の夢計画に基づき、各補助 金を利用した事業の構想を着々と進めていることが伺える多数質疑が交わされたことが印象的でした。

牛久保R財団委員長のまとめ、高木R財団アドバイザー・パストガバナーの講評等で内容満載のセミナーが終了となりました。

米山記念奨学委員会活動報告

米山記念奨学委員 神宮嘉一(高崎 RC)

平成25年12月7日午前、前橋商工会議所会館にて2014学年度米山記念奨学生選考会面接官オリエンテーションが開催されました。

冒頭、本田ガバナーと高木米山記念奨学会常務理事から「将来日本との懸け橋になるべく学習意欲と情熱を持った学生を選考してもらいたい」との挨拶があった後、田中委員長がビデオを交えて選考に

おける注意点や選考基準などのガイダンスを行い 参加者一同来年1月の本番に備え入念に準備を 致しました。

午後からは米山学友会主催の忘年会に招かれ 日頃交流機会の少ない奨学生や学友会のメン バーと大変楽しい時間を過ごしました。

学友会長の劉娜さんからは活動報告として11 月に米山梅吉記念館と箱根を訪れた初めての試みと、こうして交流を図れる忘年会が開催できることのお礼が伝えられました。また参加者の自己紹介では、奨学会のおかげで自分の夢が実現できたこと、今の幸せな自分があることなど数多くの感謝の言葉が寄せられ、改めて米山の活動意義ややりがいを感じさせられる場面でもありました。余興を挟んだのち最後は参加者一同笑顔で記念写真を撮影して散会となりました。

こんな素晴らしい会を催してくれた学友会の皆さん本当にありがとうございました。1年間の苦労や大変なことを吹き飛ばし、来年もぜひ笑顔でお会い致しましょう。







RLIセミナー Part Ⅲ 報告 ■

18 時間に及ぶRLIセミナー終了

地区副幹事 温井 尚久

平成 25 年 12 月 8 日 (日)、9:30 ~ 17:00 に前橋問屋センター会館にてRLI(ロータリーリーダーシップ研究会) セミナー Part Ⅲが実施されました。

松島地区研修委員の司会で開会となり、曽我地区研修リーダーより「本日は最後のセッションとなります。先日の日本ロータリー研究会の席でも2840地区のRLIの取り組みが報告され、非常に注目されています。長時間に渡りますが、よろしくお願いします。」とご挨拶いただきました。

続いて本田ガバナーよりRLIの理念、目的、セミナーの特徴、Part Ⅲのコース内容、Part Ⅱのアンケート結果報告、卓話・研修出前サービスの案内、RLIセミナー今後の計画などをガイダンスいただきました。

次に参加者は各セッション会場へ移動し、最後の研修がスタートしました。

セッション1会場では、「効果的なリーダーシップ戦略」、2会場では、「公共イメージと広報」、3会場では、「変化をもたらす」、4会場では、「ロータリーの機会」、5会場では、「ロータリアン、職業奉仕とその可能性」、6会場では、「私たちがロータリーを変える規定審議会」をテーマにディスカッションリーダーを中心に今回も熱い議論が交わされました。

そして、閉会式へと移りました。アンケート記入後、今回の研修でRLIセミナー Part I~Ⅲまですべてを履修した方々へ曽我地区研修委員長、横山 RLI 日本支部地区代表委員よりRLI バッジが授与されました。また、参加者を代表し、太田ロータリークラブの渋澤会長エレクトへ Part Ⅲの修了証が授与されました。

最後に横山パストガバナーより、「18 時間、大変お疲れさまです。会長、幹事は2頭立ての馬車に例えられます。会長はクラブの外、対外的な活動を行う馬車であり、幹事はクラブ内をまとめる馬車です。今回の研修を活かし、2頭の馬車で頑張ってください。また、本日バッジを受領された方は来年、ディスカッションリーダーとしてご協力をお願いします。」とご挨拶いただき、閉会となりました。







第26回茶の湯研修会参加の記・

律を守りて自在を得たる

ガバナー 本田 博己

去る11月30日(土)、前橋市日吉町にある「にしお」を会場に2840地区の第26回茶の湯研修会が開催されました。参加者数37名というのはこれまで最多だそうです。私はこのような正式?の茶席は初体験でした。

茶席の前に、地区茶の湯倶楽部代表世話人の森田 均パストガバナーのご講話「井伊直弼と茶の湯」を拝聴しました。

茶席では、「にしお」のご主人 西尾仁志様 (元前橋西ロータリークラブ) が席主を務められ、掛け軸やお花、お手前の道具等についてわかりやすく解説していただきました。

さて、私が最初にお茶を戴いたのですが、多少茶道の心得のある隣の妻が囁く指示にしたがって 俄か作法でなんとか飲み終えました。

穏やかなペースで進む茶席の雰囲気に、日頃殺伐とした生活を送っている私も心和らぎ、このひと 時を堪能しました。

茶席を体験してみて、私の唯一の風雅?な趣味である連句(俳諧連歌)で、かつて詠み捨てた 短句を思い出しました。「律を守りて自在を得たる」。 戒律をしっかり守って修行していけば、あるとき 忽然として自由の境地に達するというような意味を込めたのですが、厳格な作法に従って茶の道を究 めれば、きっと解放感あふれる自由な世界が開けてくるのだろうなぁと、ふと思ったのです。

しかし、道は遠そうです。まず、3分以上正座ができるようにすることが先決ですね。 森田パストガバナーはじめ、茶の湯倶楽部の皆様のお心遣いに心より感謝申し上げます。









・竹内年度第1回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議報告・

2014-15 年度(竹内年度) 第一回ガバナー補佐・委員長合同会議をおえて

地区幹事 春山 和夫(太田)

初めまして地区幹事を務めます春山和夫と申します。これから1年半、何かと会員皆様には、ご支援ご協力を戴くこととなります。どうぞ宜しくお願い致します。

さて、表題の竹内 GE 年度、最初の公式会議が 12 月 15 日(日)に前橋問屋センター会館 2 階の「龍の間」にて 12 時より 16 時まで開催されました。 46 名の参加者が揃って昼食を楽しんだ後に下記の内容で 2 回の休憩を挟み、活発な初の会議となりました。

ガバナーエレクト挨拶	ガバナーエレクト	竹内	正幸
地区研修委員長挨拶	地区研修委員長	曽我	隆一
地区目標、運営方針	ガバナーエレクト	竹内	正幸
組織体制、行事予定	地区幹事	春山	和夫
公式訪問、予算案等	地区財務委員	長島	章博
『2016 年規定審議会について』	規定審議会立法案検討委員長	曽我	隆一
『R 財団未来の夢計画について』	R財団委員長	牛久伊	呆哲男
『地区3ヶ年戦略計画について』	戦略計画委員長	清	章司
	地区研修副委員長	本田	博己
まとめ	地区研修委員長	曽我	隆一
閉会挨拶	ガバナーエレクト	竹内	正幸

8名のガバナー補佐、7名の新任委員長は、初経験で緊張の中、大変真剣に勉強されておられました。まじめです。本田ガバナーを始め、パストガバナー、再任委員長は、経験豊かでポイントどころ以外は、穏やかな雰囲気作りをして頂き、緊張を和らげて戴きました。竹内ガバナーエレクトの熱弁の中「つる~ん」と出帆できました。皆様に感謝申し上げます。

終わりに今の私は「ノー幹事」ですが、来年の今頃は「チョットええ幹事」となりますよう務めてまいります。重ねて宜しくお願い申し上げます。

合掌







一ロータリー財団地域セミナー(ZONE1、2、3)に出席して一

ロータリー財団委員会委員長 牛久保 哲男ロータリー財団委員会副委員長 伊能 富雄

2013年12月1日(日)会場: 東京、グランパシフィック LE DAIBA にて開催

各地区より275名の登録、国際ロータリーエバンストン本部及びRI日本事務局財団室からの出席。2840地区から本田博己ガバナー、竹内正幸ガバナーエレクト、生方 彰ガバナーノミニー、横山公一ARRC・パストガバナー、高木貞一郎パストガバナー・地区財団委員会アドバイザー、牛久保哲男パストガバナー・地区財団委員長、井上芙美子RI公共イメージコーディネーター、伊能富雄地区ロータリー財団副委員長、大島秀夫地区グローバル補助金委員長の9名が出席、AM10:00開会いたしました。

田中作次 RI 直前会長、松宮、北 RI 理事、小沢 TRF 管理委員からの挨拶並びに RI 理事会報告、2013-14 年度ロータリー財団管理委員長 李 東建ご夫妻の出席、2013-14 年度目標と報告がなされました。

プログラムの中で 2660 地区(大阪北部)での Future Vision への取組―特に Global Grant (グローバル補助金) について 2660 地区財団委員長からの発表は、

グローバル奨学生 …2件・(地区条件・奨学金1件50,000 f まで)

人道的国際奉仕……3件・(地区条件・人道的1件50,000 デュまで、クラブは10%の拠出)

手続中……3件との状況説明がありました。

*当 2840 地区では、GG(グローバル補助金)は現在まで3件の申請があり12月7日に沼田RC より申請が承認されたとの連絡を受け3件いずれも人道的奉仕プロジェクトすべてが承認されました。特に前橋RC,沼田RCではクラブ自力での申請から承認まで担当の方々クラブ会員の熱意と取組み、その行動力に今までのパイロット地区に匹敵するものと思いました。

又、「補助金申請:成功条件」としてエバンストン本部地域補助金コーディネーターの報告では、補助金申請成功条件(GG)で注意すべきことの説明がありました。

- 1. グローバル奨学金
 - (1)オンライン申請
 - ②実施国の代表者とカウンセラーを探すことが大変である。(相手国が認定を受けていなかったケースもあるとの事)
 - ③渡航日と承認の確認 (青少年交換の OB の協力も必要との事)

- 2. 人道的補助金
 - (1)支援国より実施国からの要求が大(重要)
 - ②地区の DDF 申請要件とスケジュールの明確化 (地区は全 GG 申請の内容や財団のチェックリストを精査し傾向と対策をクラブと共有する)
- 3. 人道的プロジェクトは、ソフトな要素(教育、訓練等)80%

ハードな要素(設備、機器等) 20%の比率との事。

特に利用が難しい活動として、

- ①発電設備 (ソーラーパネルなど)
- ②障害者支援(車椅子等)

災害復興支援(バス、トラックなどの寄贈等)を例として挙げていた。

*ロータリー財団補助金申請に対し、(人道的プロジェクト・VTT)補助金担当部は90%女性、 重点分野の専門職が当たっている。

申請の多いい順(6つの重点分野)

- ①経済と地域社会の発展…収入源を発生させる活動・貧しい社会の貧困の削減
- ②基本的教育と識字率……基本的教育制度が整っていない国での教育改善
- ③疾病予防と治療………母子の健康、精神疾病、口腔保健
- ④水と衛生…………汚水処理設備、協力団体及び地方政府の協力が重要
- GG 奨学金についての注目点
 - ①過去の教育、職歴、活動歴
 - ②専門性のある履修課程、具体的な研修プランロータリアンの編入先(年度の変わり目は会長が変わるため要注意、奨学金は財団ー提唱クラブー 奨学生と流れる)
 - ③ 奨学生の派遣先…… 1. アメリカ 2. 日本 を挙げておりました。

また、新たな奨学金制度の現状と課題も発表された。

今回の地域セミナーで感じたことは財団への寄付要請(大口寄付)、ロータリー平和フェローシップ、 GG 奨学生の話題と発表が多く感じ取れた内容でした。 第42回ロータリー研究会報告

希望と意欲にあふれる 2840 地区 (群馬) に注目!

ガバナー 本田 博己

2013年12月3日、4日の2日間、東京で第42回ロータリー研究会が開催されました。ロータリー研究会は、かつてはゾーン研究会と呼ばれていましたが、年に1回、日本全国(第1ゾーン〜第3ゾーン)の地区から、パストガバナー、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニー等のロータリー指導者が集まり、最新情報の提供や意見交換を行う会合です。

1日目の開会式・各種報告の後、田中作次 RI 直前会長の「RI 会長を終えて」と題する感動的なスピーチがあり、昼食をはさんで、ロン・バートン RI 会長の基調講演「日本のロータリアンに期待する」を拝聴しました。相変わらず、聴衆の心をつかむ熱心な語り口で、バートンさんの会長年度にガバナーを務める幸運を感じました。

さて、バートン会長の基調講演の直後、RIテーマ「ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を」を表題に掲げた第1セッションが行われました。私(本田)は、そのセッションのパネリストの一人に指名され登壇しました。日本の各ゾーンから同期のガバナーのうち3人が選ばれたのですが、現職のガバナーがパネリストになるのは、ロータリー研究会の歴史で初めてのことだそうです。

最前列で田中直前会長とバートン会長が聴き耳をたてる中、私は、「2840地区(群馬)における RI テーマの展開と実践」という題で、「ロン・バートン会長の RI テーマをいかに受け止め、実践しているか」、「ガバナーとして最優先で取り組んでいること」について発表しました。そのセッションの中で、私たち3人のパネリストのほかにも5人の同期ガバナーが登壇し、それぞれの地区での取り組みを紹介し、大変活気のあるセッションとなりました。

私の発表の最後を次のような言葉で締めくくりました。

「2840 地区は、地区番号順に並べると、日本 34 地区の最後に並びます。つまり、日本で一番新しく若い地区であり、前例主義にとらわれない自由で何事にも果敢に挑戦する気風があります。歴代ガバナー年度の DLP と CLP の推進、戦略計画や未来の夢計画の推進の成果を踏まえて、これからも前進し続けたいと思います。希望と意欲にあふれる 2840 地区(群馬)にご注目ください!」

会場は大拍手でしたが、竹内ガバナーエレクトだけがちょっと迷惑そうな顔をしていました。(笑い) 2 日目の研究会開会の前、ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)日本支部の総会が同会場の別室で行われ、新しい日本版のテキストが披露されました。私もカリキュラム委員として、このテキストの編集に参加しましたが、この新テキストは、2840地区で昨年から実施しているセミナーと同内容の構成となっています。来年度のRLIセミナーはこのテキストを使用します。

2日目の第4セッションは「人道的奉仕の重点化と増加ー未来の夢計画」という表題でした。パネリストの一人として登壇した2830地区(青森)のロータリー財団前委員長 富岡義勝さん(以前群馬に来ていただきご指導いただいたことがある)が、発表の冒頭、2840地区で最近発行した『ロータリー財団ハンドブック』を聴衆に示しながら、大変よくまとまった資料であると紹介してくれました。

第5セッション「公共イメージと認知度の向上―ロータリー・ブランド」では、パネリストの一人として第1ゾーン公共イメージコーディネーター(RPIC)の井上芙美子さん(前橋中央ロータリークラブ)が登壇し、「公共イメージ向上の実践例」という題で堂々と発表しました。

2840地区(群馬)の活躍が目立ったロータリー研究会でした。









前橋中央ロータリークラブ20周年記念事業の紹介

前橋中央ロータリークラブ 会 長 萩原 渉 20周年実行委員長 井上芙美子

我、前橋中央ロータリークラブが来春創立 20 周年を迎えるに当たり被災地の、福島県に対して何かできることはないかと福島県のロータリークラブ様を訪ね相談しましたところ子供達に何かして欲しいとのことでした。

会員と話し合ったところ、[子供達の野球教室] をしたらどうかと話がまとまりまして、群馬ダイヤモンドペガサスのプロ野球の選手に指導をお願いしましたところ、受けていただくことができ それから県営球場のあずま球場を押さえていただきました。

福島県北第2分区の皆様のご協力もあり、200人の子供達が集まりました。福島第1原発から約

50 km圏内の子供達は放射能の影響で、屋外の遊びを控えたり近くの野球グランドに仮設住宅が建設され使用できず、震災の被害を受けてきたのです。

そして子供達は「こうやって僕らを元気づけようとしてくれる 人達がいて、とてもうれしいです。将来は、自分もプロ野球 の選手になりたい」等と笑顔で話しておりました。選手 10 名 で準備体操やキャッチボール、ノック、バッティング、ベース ランニングと様々なことを子供達に教えました。子供達は必ず や、この日のことは忘れることなくしっかりと心に刻まれたことと 思います。たくさんの子供が集まり、元気でたくましい姿を見 せてくれ安心しました。そして、群馬の「ゆるキャラグランプリ」 で日本で3位の人気のある

『ぐんまちゃん』 のぬいぐるみを 200 個子供達にあげました。

また、電光掲示板を使い、国際ロータリー第 2840 地区前橋中央ロータリークラブ 20 周年記念事業「野球教室」と掲げまして、公共イメージの向上に大きくつながったと思います。群馬から上毛新聞社の記者が同行し、1 日中取材をして、翌日、大きく上毛新聞に取り上げていただきました。尚一層公共イメージの向上につながったと思います。









ガバナー・コラム ロータリーの誤解・正解 シリーズ〈第7回〉

第7回 ロータリーは「アイ・サーブ」"I serve"か?

ガバナー 本田 博己

入会当時、ベテラン会員から「ロータリーはアイ・サーブだから、(あまり団体奉仕はしなくてもよいのだよ)」とか、「ロータリーは、ライオンズのウイ・サーブとは違うから、・・・」とご指導?いただいた記憶があります。

確かに "We serve" は、ライオンズの(唯一の?)公式モットーとして知られていますが、一方の"I serve"という言葉は、ロータリーの公式文献(『ロータリー章典』、『手続要覧』など)にはどこにも載っていないのです。

ロータリーの古い文献をたどると、これまで私の見た範囲では、二つの文献に"I serve"という言葉が出てきます。

一つは、ビビアン・カーターの『ロータリー解析』("The Meaning of Rotary": 1927 年)です。第 1 章の章題は「奉仕の理念」"The Ideal of Service"となっており、その中に"I serve"が出てきます。 少し長いのですが引用します。

「ロータリーが奉仕の理念を取り入れた起源を手短に述べようとすれば、その考え方を解説しようとする者は、ロータリアンの I serve という信条は、初めてプリンス・オブ・ウェールズがクレーシーの戦場に赴いた時に、"Ich Dien"と言ったことに端を発する、戦場における日々の生活の中から生まれた言葉であるという事実を強調しなくてはならないだろう。ロータリアンが提唱する奉仕とは、個人の職業において奉仕することである。ロータリアンは奉仕の理念を受け入れて、自らの事業にそれを適用しなければならない。」(田中 毅氏訳)そして、この前段で、「個々のロータリアンは、会員として入会する前提として、少なくとも、利己的な考え方をする以前に、事業を通じて奉仕をするという原則に立たなければならない」と強調しています。

"I serve"という言葉が出てくるもう一つの文献は、1921年のエジンバラ国際大会でアーサー・シェルドンがスピーチした『ロータリー哲学』("The Philosophy of Rotary")です。その中に「・・・大英帝国の国策(植民地政策)は、ウェールズ皇太子の紋章(coat of arms)に描かれている『私は奉仕する』というモットーに由来しています。」という一節があります。原文は、"Ich Dien" – "I serve"となっていますから、先のビビアン・カーターの引用も、このシェルドンの一節を踏まえたものと思われます。ウェールズ皇太子の紋章に記されたドイツ語"Ich Dien"は、「私は国家に奉仕する」というような意味だったのでしようから、ロータリーの Service とは関係がありません。カーターの引用は、職業人たるロータリアンは、奉仕の理念を自らの職業に適用しなければならないことを言うために、そしてシェルドンは、ロータリーの哲学である Service 哲学を縷々説明するために"Ich Dien" = "I

serve"という言葉を援用しているのです。両者ともロータリーの奉仕が団体奉仕ではなく個人奉仕だと言いたくて引用しているわけではありません。

『ロータリー文庫』の資料には、アイ・サーブか、ウイ・サーブかという日本ロータリアンの議論がいくつか保存されていますが、この議論は戦後日本ロータリーに固有の議論のように思えます。RIが、3-Hやポリオや世界社会奉仕など人道的支援活動に注力するようになった時期、RIの方向性に疑問を持ったり異を唱えたりするため、ことさら「ロータリーは職業奉仕が基本だ」とか「アイ・サーブ(個人奉仕)がロータリーの奉仕の本質だ」とかと強調したのでしょうか。この辺の事情はロータリー歴がそれほど長くない私には歴史の世界なので、どなたかご教授いただければ幸いです。

個人奉仕か団体奉仕かという大論争が1923年当時のロータリー世界にあったのは事実でしょうが、決議23-34によって、論争は決着がつきました。

日本では、同年1923年関東大震災が発生し、そのとき世界のロータリアンから送られた多額の寄付によって、東京ロータリークラブは被災者支援活動(孤児院の設立)を開始しました。日本のロータリアンが世界的ネットワークのロータリーの力を知り、「団体」としての人道的奉仕活動に目覚めた瞬間でした。ロータリーが「団体奉仕」を否定していれば、その後の、ポリオ・プラスや米山記念奨学会もなかったことになります。

アイ・サーブかウイ・サーブかという議論は不毛です。「ロータリーはアイ・サーブだから・・・」という言い方に固執する人は、ロータリーのこれまで100年以上にわたる奉仕実践の歴史を否定することになります。

それに、私たちが大切にしてきた「奉仕の理念」をライオンズの枠組み(ウイ・サーブ)に対比させて語る必要もないでしょう。ロータリー理念の本質が「アイ・サーブ」にあるわけではありません。 そんな議論をロータリーがしている間に、ロータリーに対するとんでもない誤解が広まってしまうのです。ネット上のフリー百科事典ウィキペディアの「ライオンズクラブ」の項には次のような説明が載っています。「社会奉仕活動をロータリークラブ(国際ロータリー)のように職域や個人で行うだけでなく、チームワークを発揮して行うことによって、有意義な効果をあげるようにと、ロータリークラブから分裂する形で組織された団体である。」

ロータリーに対する誤解と偏見を前提とした解説だと思いますが、こういう認識を広めた責任の一端は、これまでの日本ロータリアンの不毛な「アイ・サーブ vs ウイ・サーブ論争」にあったといえるのではないでしょうか。

日本のロータリーでは、これまで、「アイ・サーブかウイ・サーブか」、「個人奉仕か団体奉仕か」、「サービスが先か利益が先か」、「(奉仕の) 理想か現実(の生活) か」、「奉仕か親睦か」、「職業奉仕か社会奉仕か」、「会員増強は質か量か」など、両者は相いれない、あるいは並び立たないものだというような議論が盛ん?でした。このような二律背反的な二元論の思考では、豊饒で奥深い「奉仕の

理念」やロータリー運動の本質・価値は捉えられないと考えています。

この連載の第2回(8月号)で「奉仕の理念(理想)」を表すロータリーの二つのモットー(標語)について解説しました。

初期ロータリアンは、二つのモットー"Service Above Self"と"He Profits Most Who Serves Best"を「奉 仕の理念」の意味を示す同意義の言葉として理解し、二つのモットーを一体のもの(セット)として 見ていました。

前掲のアーサー・シェルドンのスピーチ(『ロータリーの哲学』1921)では、この二つの言葉を一つのモットー(a motto)として "Service Above Self—He Profits Most Who Serves Best"と一体化した形で示しており、ロータリーの奉仕概念の真髄を、この「一つのモットー」の中の "Service" "Self" "Profit" という3つの概念の本質とそれらの関係を説明することによって浮き彫りにしようとしています。

"Service above Self"を、日本のロータリーの創始者米山梅吉さんは、「サービス第一、自己第二」と訳しました。もう一つの"He profits…"は「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」と訳されていますが、これは「ベストなサービスをすれば、結果として最大の利益を得る。」ということです。

このロータリーの二つのモットーを想起させる、私が尊敬する日本の経営者の言葉があります。クロネコヤマトの宅急便を開発したヤマト運輸の元社長 小倉昌男さんはロータリアン (銀座新ロータリークラブ) でしたが、宅急便を始めるにあたって「サービスが先、利益は後」というスローガンを掲げました。 小倉さんはこのスローガンをクロネコヤマトのセールス・ドライバーに言い続けました。 利益は考えなくてよい。 利益は約束した日時に間違いなく届けるサービスの結果である。 クロネコヤマトのサービスの価値が認められ利用する人が増えれば利益は出てくる。 だから「サービスが先、利益は後」というわけです。 小倉さんの「サービスが先、利益は後」という言葉は、単なるお題目ではなく、実践的な経営哲学でした。 そして、この言葉は、二つのロータリーモットーを凝縮した、ロータリアンであった小倉さんならではの言葉のように私には感じられます。

「トレードオフ」(trade off)という言葉があります。辞書には「同時には成立しない二律背反の関係。物価安定と完全雇用との関係など。」(『広辞苑』岩波書店)とあります。

「サービス」と「利益」との間にもこのトレードオフの関係があると言われます。 サービスを向上させるには経費が必要で、その分利益が減る。利益を追い求めれば、サービス向上は難しい、というのです。 果たしてそうでしょうか。 小倉さんは「サービスが先、利益は後」という明快なスローガンで、「サービス」と「利益」の因果関係と優先順位を社員に端的に示したのです。

二元論的な思考では、ロータリー運動の本質や「奉仕の理念」の神髄は理解できません。弁証法的思考(正一反一合)、「統合」の思想が、ロータリー理解には欠かせません。そして、本連載の熱心な読者なら了解していただけると思いますが、ロータリーの不毛な二元論を統合・克服できる言葉が「奉仕の理念」"The Ideal of Service"に他なりません。

2013-2014 年度 地区主要行事一覧 (下期)

2014年	1月 6日(月)	16:00 第3回ガバナー諮問委員会 18:00 GE壮行会	ラ・フォンテーヌ
	1月18日(土)	10:00 第1回地区補助金審査会	伊勢崎プリオパレス
	1月26日(日)	米山記念奨学生選考会	前橋問屋センター会館
	2月 2日(日)	第4回ガバナー諮問委員会(GE報告)・規定審議会補欠議員選出	前橋問屋センター会館
	2月15日(土)	米山奨学生修了式·奨学生歓送会	前橋商工会議所
	2月23日(日)	新会員セミナー(RLI方式 1日コース)	前橋問屋センター会館
	3月20日(木)~23日(日)	インターアクト国際交流事業	台湾
	4月26日(土)	10:00 地区補助金最終審査会	伊勢崎プリオパレス
	4月25日(金)~26日(土)	インターアクト国際交流事業(受け入れ)	高崎商科大学
	4月27日(日)	新規米山奨学生カウンンセラーセミナー	前橋問屋センター会館
	4月27日(日)	新規米山奨学生カウンセラー・米山奨学生オリエンテーション	前橋問屋センター会館
	5月25日(日)	16:00 第5回ガバナー諮問委員会	群馬県庁
	5月25日(日)	18:00 新旧地区役員連絡会議	群馬県庁
_	6月1日(日)~4日(水)	国際大会	シドニー
	6月15日(日)	米山記念奨学生学友会総会	前橋商工会議所
	8月	会計監査報告	

2014-2015 年度 地区主要行事一覧 (年度前・上期)

2014年	1月12日(日)~18日(土)	国際協議会(竹内ガバナーエレクト出席)	サンディエゴ
	2月16日(日)	地区チーム研修セミナー	太田 ティアラグリーンパレス
	3月15日(土)~16日(日)	会長エレ外・次年度幹事セミナー(PETS・SETS)	伊香保 福一
	4月 6日(日)	第2回ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋問屋センター会館
	4月19日(土)	地区研修・協議会(旧:地区協議会)	太田 ティアラグリーンパレス
	5月24日(土)	am:第2回ガバナー補佐会議 pm:会員増強セミナー	前橋問屋センター会館

2013-2014 年度 周年行事予定クラブ

クラブ名	周年	予 定 日	開催場所
前橋中央	20	2014年3月 1日(土)	前橋商工会議所
富岡中央	20	2014年3月 8日 (土)	ホテルアミューズ富岡
高崎	60	2014年3月24日(月)	高崎ビューホテル
伊勢崎	60	2014年4月 5日(土)	伊勢崎プリオパレス
前橋	60	2014年4月12日(土)	前橋商工会議所
館林東	30	2014年4月20日(日)	レストラン ジョイハウス
渋川みどり	20	2014年4月29日(火)	アネーリ渋川
高崎セントラル	15	2014年4月 4日(金)	高崎ビューホテル
前橋西	50	2014年5月10日(土)	前橋中央イベント広場(式典)・前橋テルサ(記念事業)
伊勢崎東	20	2014年6月	伊勢崎プリオパレス
藤岡	50	2014年5月17日(土)	藤岡市みかぼみらい館

新会員紹介



新会員名 小川 晶 クラブ 前橋東 入会日 2013年12月5日 職業分類 民事弁護 勤務先 小川あきら事務所 役 職所長 推薦者 釘島 伸博



新会員名 織田 孝志 クラブ 前橋南 入会日 2013年9月18日 職業分類 冠婚葬祭サービス業 勤務先 ㈱メモリード 役 職 専務取締役 推薦者 吉田 光徳



新会員名 矢内敏博 クラブ 伊勢崎中央 入会日 2013年11月21日 職業分類 和菓子製造 勤務先 (有)松露庵 役 職 代表取締役常務 推薦者 小林 正弘・泉 哲雄



新会員名 小久保剛利 クラブ 伊勢崎中央 入会日 2013年11月21日 職業分類 運送業 勤務先 ㈱KSS赤帽小久保運送 役 職 代表取締役 推薦者 小林正弘・大和祥晃



新会員名 川嶋 正靖 クラブ 高崎 入会日 2013年10月21日 職業分類 工業用ゴム部品の製造組立 勤務先 川島工業㈱ 役 職 代表取締役社長 推薦者 広瀬雅美・森田岳志



新会員名 三村 治 クラブ 高崎 入会日 2013年10月21日 職業分類 総合建設業 勤務先 三村工業㈱ 役 職 取締役営業部長 推薦者 広瀬雅美・金井克智



新会員名 松山 和博 クラブ 高崎 入会日 2013年11月25日 職業分類 証券業 勤務先 大和証券(株)高崎支店 役 職 支店長 推薦者 生方政文



新会員名 阿久澤 嘉一 ク ラ ブ 高崎 入 会 日 2013年12月9日 職業分類 化粧品小売業 勤 務 先 (株)おしゃれ 役 職 専務取締役 推 薦 者 吉崎裕



新会員名 花井 好機 クラブ 高崎南 入会日 2013年12月3日 職業分類 道路舗装工事 勤務先 井上道路㈱ 役 職 代表取締役社長 推薦者 六角敏三・川鍋太志



新会員名 針谷 章 クラブ 藤岡南 入会日 2013年9月13日 職業分類 スポーツ振興 勤務先 群馬県サッカー協会 役 職 会長 推薦者 神子田 遙

フィリピン中部地域大災害復旧支援募金の 結果報告と御礼

フィリピンの甚大な台風被害に対する緊急支援の募金を各クラブにお願いしましたが、12月13日までに40クラブ合計151万999円の浄財が集まりました。ご協力に心より感謝申し上げます。

地区の緊急災害資金を加えて合計20,000米ドルを2840地区のロータリークラブよりの支援金としてフィリピンの3830地区の同期ガバナーに、12月17日に送金致しましたので、御礼とともにご報告申し上げます。

本田ガバナー事務所

本田ガバナー事務所新スタッフ紹介



事務局員 佐藤 由紀恵の紹介

佐藤さんは、中学1年生のおっとり男子、小学5年生のしっかり女子、小学2年生の純粋女子、そして4匹の可愛いトイプードルの明るく元気でちょこっと天然なお母さんです。そうそう時間もかからずに、"ガバナー事務所の母"になること間違いなし!です。

ガバナー事務局の嗜みの『お酒』もご本人曰く、「ちょこっと…浴びるように飲みます!」こちらは、 すぐにでも本領発揮すること間違いなし!です。まるで今までずっと一緒に仕事をしていた様な存在 感で皆様をお迎え致しますので、佐藤さんをどうぞ、よろしくお願い致します。

なお、急に呼び掛けますと、勢いよく振り返り、ガバナー事務所の椅子にスカートを挟んで椅子から立ち上がれない(勤務3日目にして本人が立証済)事がございますので、優しくお声をかけて頂けますと幸いです。

ガバナー事務所 事務局員 入山 こず江

文庫通信(316号) ------

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、 絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。 以下資料のご紹介を致します。

デジタル化されたロータリー文献(1)

- ◎「友を選ばば」佐藤千壽 東京東 R. C. 1994 27p
- ◎ 「ロータリーのこころ」 佐藤千壽 1997 65p
- ◎「脚下照顧」 佐藤千壽 東京足立 R. C. 1997 59p
- ◎「ロータリーと禁欲の倫理」 佐藤千壽 大分 R. C. 1991 59p
- ◎「言葉は人生の杖」佐藤千壽 2003 39p
- ◎ 「職業倫理」 佐藤千壽 東京東 R. C. 1992 64p
- ◎「窓を開くロータリー 広報資料」前原勝樹 1985
- ◎「広報」 津田 進 1988
- ◎「三つの山脈」津田 進 千曲川 R. C. 2002 40p
- ◎「前原ガバナー講話集」 D.355 87p
- ◎「ロータリー廣報乃王道」 佐藤千壽 D.2780 1997 34p

「上記申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館=午前10時~午後5時休館=土・日・祝祭日

第2840地区 11 月出席報告

カニゴ粉	会員数							
クラブ数	年度初	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率		
46	1,875	1,922	1,927	5	80	83.13		

		例			会	員数		
クラブ名		会	出席率	年	月	月	増	女
	, , , , , _,		(%)	度				
		数		初	初	末	減	性
	前橋	4	79.98	111	111	112	1	6
第	前橋西	4	87.33	52	52	52	0	3
ж]	前橋東	5	78.20	65	66	67	1	4
分	前橋北	3	92.36	64	70	70	0	5
区	前橋南	4	98.53	32	32	34	2	0
	前橋中央	4	80.49	33	31	31	0	6
	合計		86.15	357	362	366	4	24
<u>/5/5</u>	桐生	3	88.30	61	62	62	0	0
第	桐生南	4	71.88	23	24	24	0	0
2	桐生西	5	89.94	53	52	52	0	1
区	桐生中央	4	76.14	24	26	26	0	4
A	桐生赤城	4	86.71	42	42	42	0	5
	合計		82.59	203	206	206	0	10
h-h-	伊勢崎	4	91.79	72	74	74	0	0
第	群馬境	4	93.75	29	29	28	-1	1
2	伊勢崎中央	4	89.00	64	70	72	2	0
区 区	伊勢崎南	3	87.33	21	21	21	0	1
В	伊勢崎東	3	88.89	30	30	30	0	2
	合計		90.15	216	224	225	1	4
	高崎	3	92.23	61	65	65	0	0
hehe	高崎南	4	68.14	62	62	62	0	5
第	高崎北	4	75.00	63	70	70	0	0
3	高崎東	4	77.84	37	38	37	-1	1
区	高崎シンフォニー	4	80.13	36	38	39	0	4
	高崎セントラル	4	67.39	34	36	36	0	0
	合計		76.79	293	309	309	0	10

		ÆII			<u> </u>	員数		
	クラブ名	例会	出席率	年	月	月	増	女
	7 7 7 74		(%)	度				
		数		初	初	末	減	性
椞	太田	4	89.49	69	69	69	0	3
第 4	太田西	4	83.62	15	18	18	0	2
分	太田南	4	82.75	38	38	37	-1	0
区	新田	4	82.15	23	21	20	-1	0
A	太田中央	5	83.56	44	44	45	1	2
7 \	合計		84.31	189	190	189	-1	7
15/5	館林	5	84.89	44	45	45	0	0
第	大泉	4	81.26	25	28	28	0	2
4 分	館林西	5	97.89	20	19	19	0	0
区	館林東	4	88.53	25	26	26	0	2
В	館林ミレニアム	4	93.18	25	25	25	0	0
	合計		88.97	139	143	143	0	4
	渋川	4	89.82	54	57	57	0	4
44	沼田	4	78.00	60	61	61	0	1
第	草津	4	70.85	16	16	16	0	1
5 分	中之条	4	92.81	23	23	23	0	1
区	沼田中央	4	73.94	51	54	54	0	1
<u> </u>	渋川みどり	4	84.77	40	40	40	0	2
	合計		81.70	244	251	251	0	10
	富岡	4	88.53	48	48	48	0	4
	藤岡	4	80.34	43	44	45	1	1
	安中	4	67.86	28	28	28	0	0
第	藤岡北	3	87.87	14	16	16	0	2
6	富岡中央	4	90.73	42	41	41	0	1
分	碓氷安中	4	71.43	14	14	14	0	2
×	藤岡南	4	68.06	17	18	18	0	1
	富岡かぶら	4	71.29	28	28	28	0	0
	合計		78.26	234	237	238	1	11

ガバナー月信についてのお願い

- ●ガバナー月信の配信は、毎月1日です。 また、2840 地区ホームページ http://www.rid2840.jp でも閲覧可能です。
- ●出席報告の締切りは、毎月14日です。
 - 出席報告は地区ホームページのトップページより入力してください。
 - なお、IDとパスワードは各事務所で御承知と思いますが、不明なクラブは本田ガバナー事務所までお問い合わせください。
- ●原稿の締切りは、毎月15日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付し、本田ガバナー事務所 honda@rid2840.jp まで送信してください。
 - なお、写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。
- ●新会員情報並びに訃報の締切りは、毎月15日です。
 - (15日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。)
 - 新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、メールにて本田ガバナー事務所までお送りください。なお、訃報につきましてはクラブ会長様に250字以内で追悼文を作成いただき、メール添付をお願いします。
- ※この月信のPDFデータを印刷して、各クラブの第一例会で会員の皆様に回覧いただきたくと共に会長の時間の中で要点を会員へお伝えいただければ幸いです。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年も「ガバナー月信」をよろしくお願いします。長期間に わたる本田ガバナー公式訪問も終了しました。

本田ガバナーはもちろんのこと地区幹事、地区副幹事まで各クラブで温かなおもてなしをいただきありがとうございました。感謝いたします。

今月は新年号として本田ガバナー、竹内ガバナーエレクトからメッセージをいただきました。また、 重田パストガバナーのエッセイ、恒例の本田ガバナー・コラム、各種事業の報告、今年度・来年度 の行事予定表などを掲載しました。

公式訪問で多くの方々から「ガバナー月信読んでるよ!」と声をかけていただきました。ありがとう ございます。例会の会長の話などでご活用いただければ幸いです。残り半年となりましたが、引続き よろしくお願いします。

2013-14 年度ガバナー月信編集長 温井尚久(前橋RC)